

F112		臨床薬学概論	
英名科目名	Introduction to Clinical Pharmacy		
大学名	同志社女子大学		
連絡先	本学京田辺キャンパス開講 教務課 TEL: 0774-65-8413 FAX: 0774-65-8418		
担当教員	芝田 信人(薬学部教授) 西村 亜佐子(薬学部特別任用助教)		
開講期間	2021年04月13日(火)~2021年07月27日(火) 2講時 11時00分~12時30分(毎週火曜日) 休講 2021/05/04(火・祝)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	火曜日 2講時
単位数	1.5	履修年次	1年次以上
会場	京田辺キャンパス		
授業定員	130		
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	評価方法・評価基準: 平常点 10% 講義終了後、関連する小テストをドリル形式で出題する。ドリルのトライは3回まで実施できる。ドリルを実施することで、授業およびそれ以外の学習に積極的に参加したと判断する。100点満点のうち10%の得点率を与える。 期末テスト 70% 期末テストは100点満点とする。ドリルで出題したすべての問題のうち、60問を期末テストに出題する。これを50点の配点とする。残り50点は記述問題を出題する。 このうち、期末テストの配分は、70%の得点率として与える。 レポート マナビー上 20% レポートを提出することにより、100点満点のうち20%の得点率を与える。 合計100点満点 100% 平常点10% + 期末テスト得点の70% + レポート得点20%		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科39,000円(登録料24,000円・受講料15,000円)、聴8,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	教室情報については、決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせください。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
授業テーマ: 医療人としての薬剤師の役割・在り方を知り、理想の薬剤師像を構築する。			
授業の概要: 1. 薬学の専門家として必要な基本姿勢を身に着けるために、医療社会における薬学の役割、薬剤師の使命を知り、どのように薬学が発展してきたかを理解する。 2. 生命の尊さを認識し、人の誕生から死ぬまでの間に起こりうる様々な問題を通して医療における倫理の重要性を学ぶ。 3. 常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通して社会に貢献できるようにするために必要なコミュニケーション能力や心構えを身に着ける。 4. 医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を学ぶ。 5. 将来の薬剤師像をイメージし、自身のキャリアデザインを考える。			

6. 薬学研究者としての研究倫理について触れ、臨床薬剤師に必要な研究マインドを身に付ける。

到達目標:

1. 医療と薬学の歴史を認識するとともに、国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身に付ける。
2. 倫理的問題に対して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身に付け、医療の担い手としての感性を養う。
3. 患者・生活者、他の職種との対話を通じて相手の心理、立場、環境を理解し、信頼関係を構築するために役立つ網力を身に付ける。
4. 医療・福祉・行政・教育機関及び関連職種の連携の必要性を理解し、チーム医療の一員としての在り方を身に付ける。
5. 日常での自身のコミュニケーションを振り返り、チーム医療に必要なコミュニケーションの取り方を身に付ける。
6. 生涯にわたって自ら学ぶことの必要性・重要性を理解し、修得した知識・技能・態度を確実に次世代へ継承する意欲と行動力を身に付ける。
7. 薬剤師としてのキャリアデザインを考える。

関連するディプロマポリシー:

薬剤師および薬学研究者に対する患者・社会からの期待を理解し、その分野に求められる倫理観を身に付けている。

授業方法:

各項目はパワーポイント、教科書、板書、配布する講義テキストで要点を解説する。講義内容に関連する小テストを数回行う。また、授業内容に関連する課題について数回のレポート提出を課す。

講義スケジュール

各回の授業内容:

1. イントロダクション (芝田担当)
 - ・生徒から学生へ
 - ・学修の心構え(単位の規定、学生として、社会人としての倫理)
 - ・研究の心構え(研究倫理)
 - ・効率の良い授業でのノートの取り方
 - ・薬学部で学ぶべきこと 薬学の使命、6年制薬学教育

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

2. 薬剤師の歴史と使命 (芝田担当)

- ・薬剤師の誕生・成長・現在・未来の薬剤師
- ・医薬部分業の流れ

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

3. 世界の薬剤師の職能比較 (芝田担当)

- ・アメリカの薬剤師
- ・ドイツの薬剤師
- ・日本の薬剤師

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

4. 薬が作用する仕組み (芝田担当)

- ・くすり、痛み、病気から薬学って何を考える

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

5. 医薬品の開発 (芝田担当)

- ・医薬品の設計、研究開発、臨床試験、承認申請まで

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

6. 医療人としての心構え (芝田担当)

- ・医療の目的
- ・命の尊厳
- ・先進医療と倫理
- ・薬剤師の医療の中での役割

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

7. 医療行為に関わる心構え (芝田担当)

- ・医のこころ
- ・薬剤師にとっての臨床とは

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

8. 薬剤師の活動分野 (芝田担当)

- ・ 社会の薬剤師に対する期待
- ・ 病院・薬局薬剤師
- ・ 在宅医療、学校薬剤師
- ・ セルフメディケーション

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

9. 臨床コミュニケーションの基礎(1) (西村担当)

- ・ 自己のコミュニケーションの取り方を振り返る
- ・ 伝える側と伝えられる側の情報の受け取り方の違いを体験する

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

10. 臨床コミュニケーションの基礎(2) (西村担当)

- ・ 人が取りやすい思考のクセを理解し、医療現場でおこるミスコミュニケーションを想像する

- ・ 医療コミュニケーションの重要性と特徴を知る

- ・ 医療情報を扱う難しさを知り、その伝え方を考える

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

11. 薬剤師としてのキャリアデザインを考える(1) (西村担当)

- ・ キャリアについて学び、自身の価値観を振り返る機会にする

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

12. 薬剤師としてのキャリアデザインを考える(2) (西村担当)

- ・ 薬剤師としての多様な働き方について知る

- ・ 女性としてこれからの生き方考えるにあたって、身体・健康という視点を組み込む重要性を知る（年齢に伴う身体の変化や女性ホルモンの影響など）

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

13. 患者の気持ちになってみる（芝田担当）

- ・ 患者・家族の手記を読んで
- ・ 糖尿病患者について知る（イメージワーク）
- ・ 患者心理を理解する

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

14. 災害時における薬剤師の役割を考える（芝田担当）

- ・ 薬剤師に必要な知識・技術・態度とは
- ・ 科学的判断と倫理的判断について
- ・ あなたは将来どんな薬剤師になりたいですか
- ・ レポート 5

A-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)

B-(1)、(2)、(3)、(4)

15. まとめ

1～14回までのすべての範囲についての知識力を確認する

教科書	1. スタンダード薬学シリーズII 1 薬学総論、日本薬学会編（東京化学同人） 2. 臨床薬学概論（2020）を配布する。
参考書	薬学教育改訂モデル・コアカリキュラム（入学時に配布されたもの）